

SSHCONニュース

第94号 発行日：令和8年8月20日

(一社) 日本労働安全衛生コンサルタント会埼玉支部

・TEL 048-649-8617 ・Fax 048-649-8618

・〒 330-0804 さいたま市大宮区堀の内町1-116-1 安藤ビル3F

・支部 URL <http://jashcon-saitama.com/>



上の写真は、東京都立川市・昭島市にまたがる国営昭和記念公園の花畑で撮影したヒマワリ（アポロン）です。この品種は枝分かれをし、小さな花を沢山咲かせます。夏の間中咲き続けます。

国営昭和記念公園は、昭和天皇ご在位 50 年記念事業の一環として米軍の立川飛行場跡地につくられた総面積 180ha にもおよぶ国営公園です。自然観察会や様々な体験会、ワークショップなどが開催され、予約をすればセグウェイツアーにも参加することができます。公園の隣には立川広域防災基地があり、南関東地域（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）に広域的な災害が発生した場合に、人員・物資の緊急輸送の中継・集積拠点として、災害応急対策活動の中枢を担います（立川市ホームページより）。

会員皆様のますますのご活躍をご祈念いたします。

(事務局広報部)

ニュースの主な内容

1. 通常総会報告	2
2. 研修部だより	4
3. 日本労働安全衛生コンサルタント会本部「令和8年度会長功績賞」 受賞の報告	7
4. 事業部会への新入会員のお知らせ	8
5. 最近の報道より	9

1. 通常総会報告

令和8年度（第36回）通常総会が、令和8年6月9日（金）浦和コミュニティーセンター第13集会室に於いて開催されました。

出席会員数は会場25名、委任状23名、合計48名でした（正会員数は90名）。

来賓として、埼玉労働局労働基準部健康安全課長の川又裕子様、一般社団法人埼玉労働基準協会連合会の永堀昌一事務局長、独立行政法人労働者健康安全機構埼玉産業保健総合支援センターの野澤敏弘副所長が列席され、祝辞を賜りました。

上程された第1号議案（令和7年度事業報告）について中澤支部長、井上事業部会長、小北事務局長から説明があり、第2号議案（令和7年度決算報告及び監査結果報告）について田中会計部長、石田監事から議案書に沿った報告がありました。支部規約第19条により、第1号議案、第2号議案の採決は行わず、この内容で本部に報告し、本部の総会で全支部を含めた一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会としての採決を行う旨、中澤支部長から説明がありました。

第3号議案（役員改選）については、正源司役員候補者選考委員会委員長により、選挙結果の報告がありました。事業部会員を対象に選挙を実施した結果、支部長候補として小北氏、監事候補として石田氏、井上氏が選ばれました。また、小北新支部長候補の推薦による幹事候補、監事候補が中澤支部長より提案され、提案どおり支部総会にて承認されました。

役員

役員	氏名	役職	備考
相談役	中澤 富夫		新任
顧問	赤木 勝		新任

役員	氏名	役職	備考
幹事	小北 悟	支部長	新任
幹事	堀江 成治	副支部長兼事業部会長	再任
幹事	田中 正司	副支部長兼事務局長兼会計部長	新任
幹事	大越 時夫	副支部長兼企画部長兼新規事業担当	新任
幹事	森 玄正	業務部長	再任
幹事	真崎 伸一郎	研修部長	再任
幹事	青木 行宏	広報部長	再任
幹事	伊藤 博英	総務部長	新任
幹事	篠原 昭司	研修部副部長	新任
部員	山本 芳比古	研修部員兼広報部員	部員
部員	本村 浩	研修部員兼広報部員	部員
部員	牛澤 浩一	総務部員	部員
監事	石田 亨		再任
監事	井上 順次		新任

第4号議案（令和8年度事業計画(案)）、第5号議案（令和8年度予算(案)）について小北支部長、堀江事業部会長、田中事務局長から説明がありました。質疑応答の結果、第4号議案、第5号議案の変更は不要と判断し、この二つの(案)の文字を削除して本部に報告する旨、小北支部長から説明がありました。



2. 研修部だより

(1) 埼玉支部見学会報告

2026年5月25日午後に興研株式会社先進技術センターの見学会を開催しました。今回の参加者は13名でした。

興研株式会社の先進技術センターは飯能市の工業団地の高台にあります。飯能駅に集合後、車参加者の車に分乗し、現地を訪問しました。

先進技術センターは2018年11月、飯能研究所、飯能研究所嵐山分室、狭山スーパークリーンテクニカルセンター、本社開発部、環境エンジニアリングディビジョンの5部門が集結することによって生まれました。外観もガラス窓を多用した先進的なデザインが施されています。

会議室において、興研株式会社の概要や製品紹介がなされ、その後、実際の研究施設での詳しい説明がなされました。

興研株式会社は防じんマスクをスタートに、自社技術により特徴のある製品を開発販売されています。防毒マスク、防じんマスクでは通気抵抗を極力抑え、性能を高める独特のろ過材を開発し、製品に使用されています。近年では電動ファン付きの製品にも力を入れられ、各種のマスクを販売されています。特に、従来から溶接現場で使用される防じんマスクは人気があります。また、マスクのフィット性の評価のために、各種の顔型を使った研究も実施されています。日本人の顔型だけでなく、ヨーロッパ人の顔型なども研究されています。

マスクだけでなく、人体の有害物質によるばく露防止のための各種製品も開発販売されています。聴覚保護具、保護面、避難用保護具、クールブローウェア、パーソナルクーラー、防じん頭巾、ケミカルスーツなど多岐にわたる製品を製造販売されていることが分かりました。特に近年力を入れられている分野として、プッシュプル型換気装置がセンターの中に設置され、実際のデモを見学させていただきました。プッシュプル型換気装置はゆるやかな一様流の空気では有害物を除去する技術であり、非常に性能が良いことは知られています。その製品には高性能のフィルターの存在が欠かせないことを、改めて認識しました。





(2) 埼玉支部研修部会主催の定期研修会（第 140 回）を令和 8 年 6 月 15 日に市民会館
おみやで開催しました。

出席者は 17 名で、研修会テーマと講師は以下のとおりです。

●講演テーマ 「令和 8 年度労働安全衛生行政動向」

講師：埼玉労働局 労働基準部 健康安全課 課長 川又 裕子 講師

●講演テーマ 「国際規格と安全指標について」

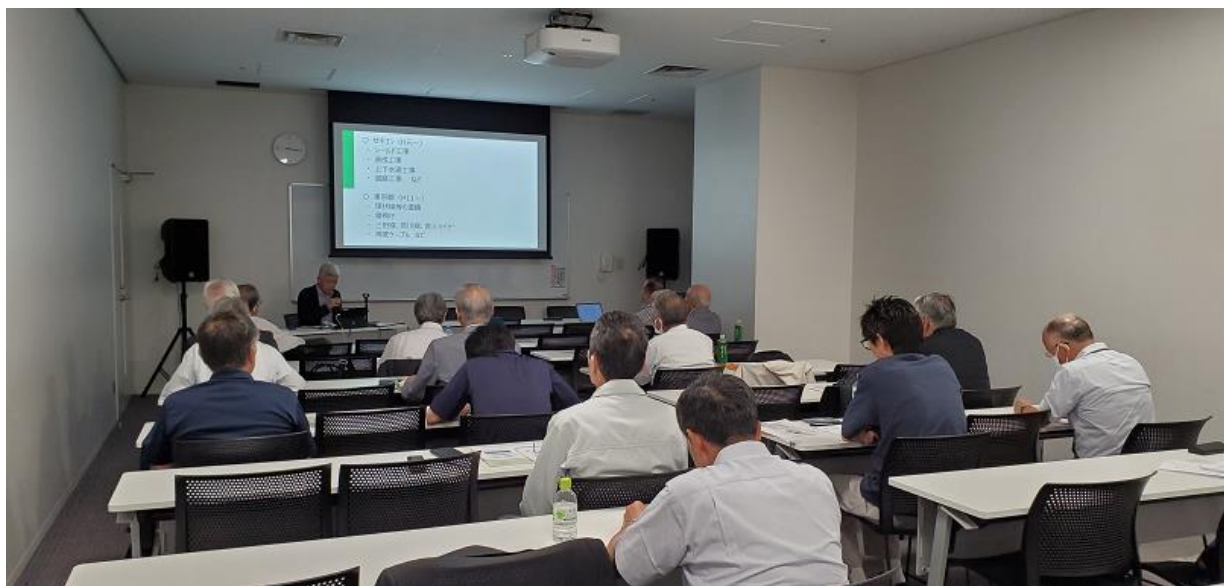
講師：労働安全衛生コンサルタント会 埼玉支部会員 野末 光弘 講師

今回の研修会の会場は「市民会館おおみや」の集会室を使用しました。

川又講師からは、埼玉県における近年の労働災害発生状況の傾向・特徴の説明や、労働安全衛生法の改正点の解説、埼玉第 14 次労働災害防止計画に基づく様々な取り組みについて説明が行われました。

野末講師からは、標準化に関する国際的な歴史や動向、いろいろな標準、規格の紹介と安全との関わりについて説明が行われました。

研修会終了後は、場所を居酒屋矢まとに移し、活発な情報交換が行われました。



第 140 回 定期研修会の様子



川又講師



野末講師

(真崎研修部長)

3. 日本労働安全衛生コンサルタント会「令和8年度 会長功績賞」 受賞の報告

埼玉支部 監事 井上 順次

このたび、日本労働安全衛生コンサルタント会会長より「功績賞」を賜り、表彰盾（クリスタルガラス製）を拝領いたしました。長年にわたり支部活動に携わってきたことを評価していただいたものと受け止めており、大変光栄に存じます。

私は、第5代石田亨支部長の時代に事業部会に入会し、現役時代には先輩方とともに厚生労働省委託事業による改善指導業務などに携わり、多くの経験と学びを得ることができました。これらの経験は、現在の労働安全コンサルタントとしての活動の礎となっています。

今回の受賞は、支部長をはじめ役員の皆様、そして多くの会員の皆様のご指導、ご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

私は、安全は法令を守るだけではなく、人を育て、安全文化を職場に根付かせることが何より大切であると考えています。この理念のもと、企業の皆様が「災害ゼロ」の職場づくりを継続できるよう、現場に寄り添った支援をこれからも続けてまいります。

今後は監事としての責務を果たすとともに、これまで培ってきた経験を生かし、日本労働安全衛生コンサルタント会および支部の発展、さらには労働災害防止と安全文化の普及に微力ながら貢献できるよう努めてまいります。

このたびの受賞に際し、ご支援いただきました皆様に心より御礼申し上げ、受賞のご報告とさせていただきます。



4. 事業部会への新入会員のお知らせ

	氏名	野末 光弘		
	種類 登録番号	安全 土 第 4627 号		
	事務所名称及び住所を記載： 野末 労働安全コンサルタント事務所 〒349-0217 埼玉県白岡市小久喜 675-1 B-907 E-mail; anzennozue@gmail.com TEL/FAX 0480-93-8918			
資格・その他				
技術士（建設部門）、1級土木施工管理技士、浄化槽設備士、 甲種火薬類取扱保安責任者、第二種酸素欠乏作業主任者、統括安全衛生責任者講習修了				
専門事項 特許 著書その他特筆すべき事項				
土木安全、安全講話、リスクアセスメント、ISO45001、長岡技術科学大学大学院工学研究 科修士課程システム安全工学分野（在学中）				
その他備考				
ゼネコンで、シールド工事、上下水道工事、ニューマチック工法での立て坑築造工事及び道路工事等を担当しました。当時、好きだった業務は設計変更です。 東京都では、道路の整備と維持管理、地下鉄都営三田線、都電荒川線及び日暮里舎人ライナーの維持管理を担当しました。変わったところでは、海底ケーブルの改良工事と維持管理も担当しました。台風の大波で海底ケーブルが切れてしまった時には、自然の力にはかなわないことを改めて実感しました。 請負者、発注者の両方で安全管理に携わった経験と今学んでいる「システム安全」の考え方を活かして、安全・安心で快適な職場づくりに貢献していきたいと考えております。 ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。				

5. 最近の報道より

■厚生労働省その他の動き（気になる情報の抜粋）

月日	表題	概要
3 月	建設業労働災害防止協会 令和 7 年度 建設業における高年齢就労者の 労働災害防止対策のあり方検討 委員会 報告書	https://www.kensaibou.or.jp/safe_tech/leaflet/files/R7_kounennrei_03.pdf
3 月	建設業労働災害防止協会 令和 7 年度 建設業におけるメンタルヘルス 対策のあり方に関する検討委員 会 報告書	https://www.kensaibou.or.jp/safe_tech/leaflet/files/R7_mental.pdf
3 月	建設業労働災害防止協会 保護具等に関する調査研究委員 会 令和 7 年度検討結果報告書	https://www.kensaibou.or.jp/safe_tech/leaflet/files/R7_hogogu.pdf
3 月	建設業労働災害防止協会 令和 7 年度 建設業における化学物質管理の あり方に関する検討委員会 報 告書	https://www.kensaibou.or.jp/safe_tech/leaflet/files/R7_kagakubussitu.pdf
4 月 28 日	厚生労働省 基発 0428 第 4 号 労働安全衛生規則の一部を改正 する省令の施行について	事業者に対して、産業医の辞任、解任又は退任があ った場合に所轄労働基準監督署長へ、当該産業医の 氏名及び辞任等の年月日等を遅滞なく報告するこ とを新たに義務付けるもの https://www.mhlw.go.jp/content/001700019.pdf
4 月 28 日	厚生労働省 基発 0428 第 9 号 労働安全衛生規則等の一部を改 正する省令の施行等について	定期健康診断等の診断項目の取扱いの一部変更（喀 痰検査の削除、肝機能検査の酵素名の変更、血清ク レアチニン検査の追加等） https://www.mhlw.go.jp/content/001700009.pdf https://jsite.mhlw.go.jp/okayama-roudoukyoku/content/contents/002670052.pdf
5 月 26 日	厚生労働省 基発 0526 第 1 号 労働安全衛生法及び作業環境測 定法の一部を改正する法律の一 部の施行に伴う関係政令の整理	https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001704274.pdf

	等に関する政令等の施行について（個人事業者等の安全衛生対策の推進に係る規定関係）	
5 月 27 日	厚生労働省 令和 7 年の労働災害発生状況（確定値）を公表	死亡者数は 700 人で過去最少、休業 4 日以上之死傷者数は 135,333 人で横ばい。 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_73382.html
5 月 27 日	厚生労働省 基安発 0527 大型荷役機械等の解体工事における安全確保に係る総点検について	令和 8 年 4 月 7 日に神奈川県川崎市の製鉄所で発生した解体工事における重大災害の発生を受け、建設業の関連団体などに対し、大型荷役機械の解体工事における安全確保のための総点検を要請した。 https://jsite.mhlw.go.jp/shizuoka-roudoukyoku/content/contents/002679037.pdf
5 月 29 日	総務省 消防庁 「令和 7 年中の石油コンビナート等特別防災区域の特定事業所における事故概要」の公表	令和 7 年中の、地震によらない一般事故の発生件数は 425 件で過去最多となっている。一般事故の件数は徐々に増加傾向にあり、発生要因として物的要因では腐食疲労等劣化、人的要因では操作確認不十分によるものが多く見られる。 https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/0218dc68d86794659e49e0adac7db25f56eca3b5.pdf
6 月	厚生労働省 福岡労働局 リーフレット はしご・脚立・踏み台からの墜落災害防止のために ～ 高さ 1 m 以下でも死亡災害が発生しています ～	https://jsite.mhlw.go.jp/fukuoka-roudoukyoku/content/contents/002739759.pdf
6 月 10 日	厚生労働省 労働者数 50 人未満の事業場のストレスチェックの義務化が令和 10 年 4 月 1 日からスタート	https://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzenisei12/index.html
6 月 15 日	経済産業省 感電死傷事故に関する注意喚起	例年、夏季には感電による死傷事故が増加する傾向にあることから、感電事故防止対策のための資料や感電死傷事故に関する事例集を作成して注意喚起を行っている。 https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/oshirase/2026/06/20260615.html
6 月 17 日	厚生労働省 「令和 7 年度 石綿による疾病	令和 7 年度の労災保険給付の支給決定件数は 1344 件で、前年度に比べ 204 件増加している。

	に関する労災保険給付などの請求・決定状況まとめ（速報値）」を公表します	https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_73803.html
6 月 24 日	厚生労働省 基発 0624 第 5 号 労働安全衛生規則及び労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について（個人事業者等の業務上災害の報告に係る規定関係）	https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001713372.pdf
6 月 29 日	厚生労働省 機械の無人運転における安全確保等に関する専門家検討会 中間とりまとめ	https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_74141.html
6 月 30 日	厚生労働省 基発 0630 第 2 号 労働安全衛生規則の一部を改正する省令の施行について	ストレスチェックの集団分析について、特定の個人を識別することができない方法で実施することを新たに規定するもの https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001716818.pdf
7 月 15 日	厚生労働省 令和 7 年度「過労死等の労災補償状況」を公表します	脳・心臓疾患に関する事案の支給決定件数は 217 件で前年度比 24 件の減少、精神障害に関する事案の支給決定件数は 1,082 件で前年度比 26 件の増加となっている。 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_74476.html
8 月 4 日	厚生労働省 事業場における労働者の健康保持増進の在り方に関する検討会 報告書（案）を公表	THP 指針改正概要（案） ・指針の健康保持増進措置の範囲をがん検診等の 2 次予防まで拡大し、検診等の機会提供の方法等を具体的に規定 ・治療と仕事の両立支援を指針上に明記し、両立支援の更なる推進を図る。 ・就業形態にかかわらず全ての労働者が対象であることを明確化 ・労働者にデジタルツール等を活用し、自身の保健医療情報（PHR: Personal Health Record）の把握に努めるよう促すことを明記 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_75295.html

■新たな化学物質管理関係

月日	表題	概要
6月5日	令和8年度化学物質管理に係る専門家検討会 中間取りまとめ報告書（令和8年6月5日公表）	https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001712041.pdf
6月17日	【政令】 労働安全衛生法及び作業環境測定法の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備に関する政令（令和8年政令第196号）（令和8年6月17日公布）	https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001732740.pdf
6月17日	【パブリックコメント】 労働安全衛生法及び作業環境測定法の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備に関する政令案に関する意見募集の結果について（令和8年6月17日公表）	https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001732757.pdf
7月29日	【省令】 労働安全衛生法及び作業環境測定法の一部を改正する法律の一部の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令（令和8年厚生労働省令第116号）（令和8年7月29日公布）	https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001732741.pdf
7月29日	【告示】 作業環境測定法施行規則第五条の二の二の規定に基づき厚生労働大臣が定める者（令和8年7月29日厚生労働省告示第279号）	https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001732752.pdf
7月29日	【パブリックコメント】 労働安全衛生法及び作業環境測定法の一部を改正する法律の一部の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備等に関する省令案に関する意見募集の結果について（令和8年7月29日公表）	https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001732758.pdf
7月29日	【パブリックコメント】 作業環境測定法施行規則第3条の3第1項第2号の規定に基づき厚生労働大臣が定める要件（案）及び作業環境測定法施行規則第5条の2の2の規定に基づき厚生労働大臣が定める者（案）に関する意見募集の結果について（令和8年7月29日公表）	https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001732760.pdf
7月30日	【改正政省令の施行通達】 労働安全衛生法及び作業環境測定法の一部を改正する法律等の施行等について（個人ばく露測定等関係）（令和8年7月30日付け基発0730第2号）	https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001732756.pdf
7月31日	【告示】 作業環境測定法施行規則第三条の三第一項第二号の規定に基づき厚生労働大臣が定める要件	https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001732755.pdf

	(令和 8 年 7 月 31 日厚生労働省告示第 292 号)	
8 月 7 日	【告示】 サンプルング補助者講習規程 (令和 8 年 8 月 7 日厚生労働省告示第 293 号)	https://www.mhlw.go.jp/content/11300000/001736093.pdf

次号は令和 8 年 11 月中旬頃発行予定です。皆様よりの情報提供を期待しています。
 また、コンサルタント事例としての経験談（成功談でも失敗談でも）を募集しています。
 それ以外の内容でも大歓迎です。寄稿をお待ちしています。

- ・今回の SSHCON ニュースに対するご感想・意見等をお寄せ下さい。
- ・みなさんがお持ちの情報、写真等で会員みなさんに提供したいものがありましたら、連絡下さいますようお願い致します。